

# 水平畑に再整備して連作障害を克服し、たまねぎを安定生産 ～岡田 啓次 氏～

## 経営体の概要

現 在：平成27年  
基幹作物：たまねぎ  
経営面積：80a

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体は、淡路島の特産品であるたまねぎを栽培するため、平成6年に国営北淡路地区の造成農地を取得した。その際、造成農地を均平化して水平畑に再整備し、夏場に約1ヶ月間湛水することで、本地区の課題である連作障害を克服している。また、冷蔵貯蔵施設で保管し産直市への周年供給で有利販売につなげている。

## 営農改善のポイント

### ①栽培技術の確立・向上

本地区では、たまねぎの連作障害が課題になっているが、本経営体は、造成農地を湛水可能な水平畑に再整備し、たまねぎの連作障害を克服している。夏場に約1ヶ月間、ほ場に設置してある給水栓からダム用水を給水して湛水することで、省力的に土壤消毒を行い、たまねぎの安定生産を実現している。



水平畑でのたまねぎ栽培状況

### ②流通・販売の工夫さんかい

たまねぎは、(有)三界産業(本氏が経営)が管理する冷蔵貯蔵施設で保管し、販売は三界蔬菜生産組合(任意組織)として協同販売している。長期貯蔵性に優れる晩生種等を、通風乾燥、根切り等を行ったうえで規格別に分別して、プラスチックコンテナで冷蔵貯蔵しており、品質を保持し長期出荷を可能としている。

また、以前は、関西の中央卸売市場に出荷していたが、平成10年の明石海峡大橋開通に伴い、高速道路サービスエリアや産直市での直売に全量切り替えた。品薄となる9月中旬以降3月末まで、冷蔵貯蔵したたまねぎを産直市の販売状況を確認しながら順次出荷し、自ら価格設定を行うことで有利販売につなげている。



冷蔵貯蔵施設で保管し周年供給

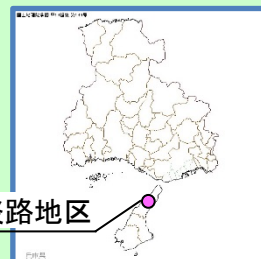


サイズごとにネットで販売

## 事業概要

事業種：国営農地開発事業  
関係市町：淡路市  
受益面積：612ha  
事業期間：昭和43年度～平成元年度  
事業目的：農地造成等  
主要工事：農地造成420ha、区画整理22ha、ダム2カ所、揚水機場2カ所等

## 位置図（兵庫県）



北淡路地区

## <問い合わせ先>

近畿農政局 農村振興部  
農村環境課 営農担当  
電話：075-451-9161  
(内線2452)

(平成27年度調査時点)